



職員が八幡馬を発見！



大きく育ってね！



散策した森の中

生協ふれあいの森植樹祭(仙人平)に参加しました。

6月20日(日)、5月23日に青森市眺望山で開催した植樹に続き、十和田市仙人平「生協ふれあいの森」での植樹に、組合員6名、職員6名が参加し、他生協からの参加者と力を合わせ、ブナ80本を植樹しました。

植樹後は、森の散策を兼ねたクリエーションを行いました。ヒントをもとに紙に書かれたものを森の中から探すゲームと、森の中に隠された八幡馬(やわたうま)を探すゲームを同時にしました。

森の新鮮な空気でリフレッシュしながらゲームを楽しみました。



コーサケが遊びにきました。



読み聞かせ大人も夢中



平和の礎：沖縄戦などで亡くなったすべての人を追悼し、悲惨な戦争の教訓を後世に正しく伝えて行くために建設されました。左右に見える刻銘碑には、戦没者の名前が彫られています。

コーサケと一緒に遊ぶのだ

5月29日(土)、五所川原事務所で、五所川原地域リーダー会が、土曜親子企画「コーサケと遊ぼう」を開催しました。「子どもネットワーク・すべてっぷ」の方を招き、絵本の読み聞かせを聞いたり、コープ共済キャラクターのコーサケと遊んで、一緒に写真を撮つたりしました。

はばたき トピックス ～8月号～

組合員の交流コーナー テーマは： 私が思う平和について

「私が思う平和について」

私の思う平和は、自分も他人も共に幸せになることで実現できると思います。

100人いれば100通りの考え方がある

『長兄沖縄戦で玉碎 平和な世に』

終戦が近くなり広島、長崎に原子爆弾が投下され、一瞬にして多くの人命が奪われました。私の長兄は、出征する時、乳児だった私を抱いて「ケンが小学校に上がる頃には、帰って来るから」と言つたそうです。太平洋戦争末期の1945年3月26日、米軍が沖縄県慶良間諸島に上陸。4月1日に沖縄本島に上陸し、住民は、空や海から、陸上でも銃や大砲の攻撃にさらされました。軍人でない一般の人々も多く犠牲になっています。長兄は沖縄で玉碎しました。武器が底を尽き、竹やりで米軍の機関銃に向つたのでしょうか。2012年に妻と沖縄へ行きました。糸満市にある石碑「平和の礎(いしじ)」へ。戦争はあってはなりません。

つがる市のK・Eさん

「普通が一番！」

平凡ですが、「普通」なんです！今はコロナだから行つたり来たりできない時代ですが、平穏無事でありたいです。おかげさんで娘・息子孫達とは一緒に住んでいます。

八戸市の「Yunke」さん

「何気ない平和」

私の思う平和は、家族みんなで顔を合わせて食事をすることです。私の主人は国家防衛を担う立場にあるので、有事の際は真っ先に任務に向います。なので、何気ない日常を何事もなく暮らすことが私にとっての平和と思っています。

むつ市の「Rママ」さん

「笑つて過ごせること」

私の思う平和は、子供とだんなと笑つてすごせる日々が平和かなあ…。

十和田市の「すみれまま」さん

「父との思い出」

亡くなった父は、若かりし頃、満州にいたと聞いたことがあります。幼い私(小学生)は、戦争の話を聞いてもよくわからず、「また戦争の話がはじまつた」と聞き流していました。その頃、家には小さいレコードがありました。私は意味も分からず、しかしテンポのよい曲をレコードと一緒に口ずさんでいました。それは軍歌「麦と兵隊」だったのを思い出します。亡父はどんな思いで、それを聞いていたのでしょうか？

七戸町の「月見草」さん

「お互いの顔が見える」

鏡を持たない日本は平和でいいなーと、常常思います。戦争のない世界になつてもらいたいものです。コロナウイルスも早く消滅して、マスクを外してお互いの表情がよくわかる平和な世の中に早く戻つてほしいですね。

むつ市のM・Sさん

はばたき10月号のテーマは 「秋にとれる 野菜の食べ方」です。

氏名(よみがな)・組合員番号・掲載時のお名前を明記の上、下記の応募先へ応募してください。〆切は8月23日(消印有効)です。ご応募お待ちしております。